

【小学部 進路のおはなし①】



～『進路』って何だろう？～



今号から、進路についての情報をお伝えしていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。保護者の皆様からの質問や知りたい情報についてありましたら、連絡帳等にお書きください。次号以降の学級だよりにて情報をお伝えしていきたいと思います。

『小学部の段階から、進路について知った方がいいですよ。』

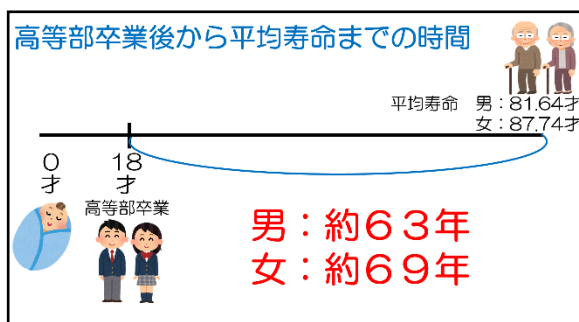
もしかしたら、このような言葉を聞いたことがある保護者の方もいるのではないのでしょうか。

「進路」と聞くと、「高等部卒業後の進路先のことだから、まだまだ先のこと。」「まだまだ先のことから、イメージがつかない。」と思われがちです。高等部卒業後の具体的な進路先を今から決めることは難しいですが、将来は自立した生活を送って欲しいという願ひをお持ちの保護者の方は多いのではないのでしょうか。

この、「将来は自立した生活を送って欲しい」という願ひが、「進路」を考えるときに大切なことではないかと思ひます。なぜなら、高等部を卒業した後、お子様が地域社会で過ごす時間がとても長いからです。

日本人の平均寿命（厚生労働省の「簡易生命表（令和2年）」によると、2020年の日本人の平均寿命は男性が81.64歳、女性が87.74歳です。ということは、18歳で高等部を卒業すると、その後約60～70年は地域社会で過ごすこととなります。

この60～70年をお子様が地域社会でどのように過ごして欲しいのか、またお子様本人がどのように過ごしたいのかを高等部卒業までに考え、それに向けた準備を行う必要があります。



とは言え、小学部段階でお子様の将来に向けての願ひを具体的に考えることは難しいかもしれません。しかし、難しいからこそ、中学部・高等部や高等部卒業後の生活等の情報を知ることによって、将来への不安や焦りを軽減し、将来に向けた準備や将来の具体的なイメージをもつことができると思ひますので、まず一緒に知ることから始めましょう。

【次号では、「進路の手引き」について取り上げたいと思ひます。】